

## ⑨三郷流山橋有料道路建設事業

受賞機関 埼玉県道路公社  
埼玉県 県土整備部  
千葉県 県土整備部

**キーワード** 県境道路、渋滞緩和、防災機能の向上、地域間連携、事業期間縮減、ETCGO

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

埼玉県と千葉県を結ぶ新設橋梁の有料道路整備。渡河する橋梁が限られている江戸川における周辺の交通課題等を解消するため、コスト縮減を図りつつ、有料道路事業も活用し、工事を短期間（約4.5年）で完成させた点が評価された。

### 1. はじめに

三郷流山橋有料道路は、埼玉県三郷市内の東京外環自動車道三郷西インターチェンジから茨城県つくば市内の国道354号を結ぶ都市軸道路の一部となる道路で、主要地方道越谷流山線のバイパスとして、埼玉県道路公社、埼玉県、千葉県の3者で整備を進めた。



位置図

### 2. 事業の概要

平成26年度から埼玉県、千葉県で用地買収や一部の工事を開始し、その後、事業のスピードアップを図るため、平成30年度に国の許可を得て、埼玉県道路公社が有料道路事業として整備を実施し、令和5年11月26日に開通させた。

整備区間は、埼玉県三郷市前間<sup>ぜんま</sup>地内の県道三郷松伏線との交差点から、江戸川を渡河し、千葉県流山市<sup>みわの</sup>三輪野<sup>やま</sup>山地内の県道松戸野田線バイパスまでの、延長2.0kmで、暫定2車線の供用である。

料金徴収には従来の現金や電子マネーによる支払いの他、キャッシュレス決済の更なる推進のため、ネットワーク型ETC (ETCGO) を導入した。これはインター

ネットを介して、カード情報の確認や決済を行うもので、高速道路にある一般的なETCに比べ、安価で設置することができる利点がある。



三郷流山橋有料道路

### 3. 事業の成果

当該地域は、ららぽーと新三郷などの大型商業施設や物流施設が数多く立地しており、交通需要が高い地域である。また、都市化の進展により周辺地域では人口が増加している。

一方、江戸川を渡河する橋梁が少なく、渡河部に交通が集中し、県道草加流山線の流山橋では著しい交通渋滞が発生している。

これらの現状を踏まえた上での事業の効果として、1点目は、両県間の道路交通の円滑化である。例えば、「流山おおたかの森駅」周辺の市街地から新三郷駅周辺間では、三郷流山橋有料道路経由で最大25分の時間短縮が図られた。

2点目は、防災機能の向上で、大規模災害発生時における広域避難や物資輸送の確保に寄与している。

### 4. おわりに

県境が河川である埼玉県と千葉県は、両県をつなぐ橋が非常に重要なインフラであると認識している。映画『翔んで埼玉』では、流山橋が両県の戦いの場として描かれたが、この三郷流山橋有料道路が両県民にとって新たな発展、交流につながる橋であることを期待したい。

賛助会員 (株)横河ブリッジ、東急建設(株)、伊田テクノス(株)、(株)ユーディーケー、宮地エンジニアリング(株)、(株)駒井ハルテック、日本車輛製造(株)、日本ファブテック(株)、(株)島村工業、(株)近代設計